

茶話会 「海の幸は大丈夫？～汚染状況と安全を考える～」

日時：6月14日（火）10:00～12:00
 場所：フォレスト仙台5階 501会議室
 講師：片山知史さん
 （東北大学大学院農学研究科水産資源生態学分野 教授）
 参加者：21名

片山さんは主に沿岸魚類の資源生態と資源管理方策を中心に、東日本大震災後の水産業を追ってこられました。「被災地沿岸部は、5年経っても全く町ができていない。漁港に防潮堤や高台を作っても、人が戻ってこないのが流通・加工を含めた水産業が復活しない。まずは元に戻せばよかったと思う」とのこと。



市場や調査漁業、漁師と一緒に漁にも出ているという片山知史さん



小さいお子さんと共に参加した方もいました

なっているそうです。小さなお子さんがいて気にかかる方は、回遊魚※は比較的安く、貝類は砂をはかせた方がよいそうです。淡水魚は濃縮係数が高くセシウムが多く

福島は原発事故による放射能被害が追い打ちをかけている状況ですが、昨年4月に、福島県を含めてすべての県からの海洋生物で、セシウム濃度が基準値を超える検体はゼロになり、その後もゼロに

なりがちとのことでした。

全体的にみれば、沿岸漁業漁獲量は震災前の7割に留まり、風評被害の影響は未だ解消していません。「セシウムを摂取する可能性のあるものとの付き合い方は個人差があるが、今流通しているものは大丈夫。輸入ものの方が安心ということではなく、輸入元でどういう環境で生産されているかを考えてもらいたい。」「一般的にセシウム濃度の割合が取りざたされているが、福島原発から海中に放出される汚染水に、トリチウムが除去されないまま放出されている現状を知ってほしい。」など、正しい情報をしっかり把握してほしいと要望されました。



テーブルごとに出た意見は、食部会メンバーに発表してもらいました

参加者からは「原発汚染水の放出、最終判断が漁業者に任せられ、責任を負わされるという話を聞き、東京電力、国に怒りがわいた。」という感想も寄せられました。

後半は、お茶を飲みながら、三陸産の小女子の佃煮と国内産果実のゼリーを食べつつ、テーブル毎にフリートークをしました。少ない時間でしたが片山さんにも回っていただき、各テーブルとも会話が弾んでいて、参加者の関心の高さが伝わりました。

※回遊魚=イワシ、アジ、サンマ、ブリ、サケ等

「ベガルタ仙台 エコ体験ブース」

日時：5月29日（日）10:00～14:00
 場所：ユアテックスタジアム仙台 北エントランス付近
 参加者：108名

今年のエコ体験ブースでは、新しく、牛乳パックと古着をリメイクしたカードケース作りと、画面上で仮想のコースを運転して燃費測定やエコドライブのコツを学べるエコドライブシミュレーターの2つを取り入れました。子どもがエコ検定にチャレンジしている横で、親がエコドライブシミュレーター体験やカードケース作りをするという姿も見られました。エコ検定5級合格者には、

スタジアム内のエコステーションで分別呼びかけの体験をしてもらいました。子どもたちの笑顔と元気な声に、エコステーションに来る人たちも自然と笑顔になり、きちんと分別してくれていたようです。今回のブースでの体験をきっかけに、ぜひ家族で環境について話し合ってもらいたいです！



エコ検定常連の子どもも多いんです！

楽しく環境の情報交換をしました！ ～環境に取り組む「企業・団体・学生の活動発表＆交流会」～

日時：6月18日（土）14:45～17:00
場所：仙台シルバーセンター 7F 研修室1
参加者：55名

活動発表では、みやぎ生活協同組合の上條栄治さんが、店舗の屋根に太陽光発電パネルの設置を進めていることや、店内のLED照明付け替えによる電気使用量削減の取り組みなどを紹介してくれました。最近の取り組みとしては秋田に2,500KWの風車を3基建設中で、10月から稼働予定とのことでした。

NPO法人川崎町の資源をいかす会の菊地重雄さんは、川崎町での山林整備や薪の生産活動をしています。また震災後に再生可能エネルギーの必要性を感じ、直径2.4mの水車を制作し、街路灯の電気として利用しているとのこと。今後はそば粉を挽ける水車を整備し、エネルギーと食で町おこしを進める計画です。



みやぎ生協の取組事例を分かりやすく説明してもらいました！

会場内には11のブースを設け、参加者が出展ブースで直接話を聞いたり、展

示物を見て触ることによって知識を深めることができます。企業・団体ブースでは、森林保全活動、建材を展示して木造住宅の推奨、企業や家の省エネ、エコドライブ推奨等の活動内容を紹介。環境サークルの学生ブー



来場者・ブース出展者が積極的に情報交換

スでは、積極的にボランティア活動していることが紹介されていました。また、小型バッテリー付の太陽光発電や薪ストーブ・水車の模型が展示され、家庭や地域のエネルギーについて考えるきっかけづくりになりました。

来場者と出展者が楽しみながら情報を交換することで、互いが取り組んでいる環境活動のヒントを見つけられるイベントになりました。

■ 出展ブース ■

イートス株式会社、オリックス自動車株式会社、特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会、株式会社建築工房零、株式会社サイコー、スモリ工業株式会社、環境サークルたんぼぼ、株式会社東日本放送、環境活動サークルFROGS、みやぎ生活協同組合、MELON

新スタッフ・インターン生を紹介します！

新スタッフ

6月からMELON事務局に新スタッフが入りました。また、公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団のCSOラーニング制度により、今年も3名のインターン生が仲間入り。インターン生は、6月から来年1月までの8か月間、MELONのスタッフとしてさまざまな活動に携わっていきます。どうぞよろしくお祈いします！



■玉澤 茂幸（たまざわ しげゆき）
水部会・食部会・総務・経理担当

以前、福祉系のNPO団体に勤めていた際、公式WEBサイトや事務局ブログに時々アクセスしては、活動内容等を興味深く見ていました。MELONになじみながら、調査研究等の経験も活かしていきたいです。

趣味：ウォーキング、直売所めぐりなど

インターン生

■片倉 瑞（かたくら みずき）



イベントに参加し、環境問題に直接、実践的にかかわることで、より理解を深め、新しい知識を増やしていきたいと思いま

す！また、社会へ踏み出す一歩として、社会人に必要なスキルを自発的に吸収し、自分の糧にしていきたいです。

趣味：盆栽（植物を育てること全般）

■高橋 楓（たかはし かえで）

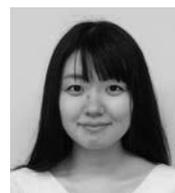


普段の生活では味わえないことを身をもって体験し、そこで発見したことをこれからの生活・勉強につなげ

ていきたいです。また、MELONを通じて知り合った方々との交流を深め充実した活動をしていきたいです。

趣味：写真

■千葉 唯奈（ちば ゆいな）



環境については、まだまだ知らないことがたくさんあります。今後MELONで行われるさまざまな活動への参加を通じて、環境についての理解を深めていきたいと思いま

す。そしてこの機会に多くのことを吸収し、成長できるよう頑張っていきたいと思いま

す。趣味：スポーツ観戦、バラエティ番組を見ること